

リポート 東構協

2005年(平成17年)

新春号

[第14号]

発行 東京鉄構工業協同組合
〒104 東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階
-0032 TEL 03(5566)1 5 9 5
FAX 03(5566)1 5 9 7



王道と覇道

理事長 池田 英敏

昨年は、年初より鋼材価格の高騰から始まり、年末に至っては、鋼材の品不足となり、自動車関連企業に深刻な影響を与え、減産体制を余儀なくされた一年でありました。また、多くの災害に見舞われた最悪の年でもありました。時代を急ぎ足で駆け抜けて、寵児と持て囃された人達の凋落も垣間見ることもありました。ほかにも、不正行為を働いた企業も数多く報道されました。勝つために

何をしていても良いという企業倫理の失墜が批判されました。今年も、昨年の鋼材の高騰と品不足の影響を受けながら心配事を引きずって、経済の不透明な厳しい一年に立ち向かわねばなりません。

上場企業の2割強が中間決算において過去最高益をあげているにもかかわらず、私たち川下(かわしも)産業のファブ業界では、僅かな利益を上げることさえ、ままたらぬ状況

であり、多少なりとも矛盾を感じざるをえません。それでも私達は、最後尾でしっかりと勝ち残っています。謙虚に位置し、他人に利益を与えながら低い場所でしたたかに生きている。

時代の速度に乗り遅れることなく、日々努力している私達は、決して先を争って、かっこ良く駆け抜ける必要はないし、急ぐ必要もありません。日々コツコツと天から与えられた仕事に励み、降りかかる困難を克服し、とにかく前に進む強い意志さえあれば、多少時間はかかるかもしれないが、必ず自分の立てた目標に到達できると信じたいと思います。また、なりふり構わない受注競争はやめたいものです。「舟に刻みて剣を求む」経営姿勢は、いけません。日ごろからそうならないように心がけたいものです。

さて東構協の今年度の重点課題としては、次世代の育成と技術の伝承を取り上げて、若い人たちに夢と誇りとロマンを持った後継者として、社会に翔舞させてやりたいと願ってやみません。この事業に対して皆様には、ぜひご協力とご支援をお願いしたいと思います。今年一年が皆様にとって、幸多かれとご祈念申し上げて、ごあいさついたします。

(池田鉄工(株)社長)

組合理事役員 年頭の挨拶



相談役
金子 升一

物づくりの誇りと使命、責任

日頃は全国鉄構工業協会、また東京鉄構工業協同組合の諸活動にご協力とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、国内では相次ぐ台風水害や新潟の中越地震、年初は海外ではスマトラ沖地震・大津波災害など自然災害が相次ぎました。自然が巻き起こす脅威の前には、人は無力であることを思い知らされる出来事かと思えます。

身内や家を喪失し、打ちひしがれた被災地の人々のニュースを見て深く悲しみを覚えると同時に、その悲惨さを自分の立場に置き換えたとき、熱く胸にこみあげてくるものがあります。ただ、人は無力で明日を生きるはいけず、いつまでも悲しみを背負っているわけにはいきません。

鉄骨不況と昨年からの鋼材問題など山積するさまざまな課題に、われわれファブ経営者は頭を悩ますことが、日頃多いわけですが、これだけ業界が長期にわたり、疲弊していくとどうしても「なにをやっても無駄ではなかるうか」など前向きな姿勢どころか、諦めムードが蔓延していくことが気がかりです。無力感も当然、漂うわけですが、われわれは日

本の基幹産業、社会基盤の構築の一翼を担っているという物づくりの誇りと使命、責任などは決して忘れてはなりません。そのことで優秀な若手が「鉄構の門」を叩き、われわれの後に続くのだと思えばこそ。

(那須ストラクチャー工業㈱会長)



副理事長
総務・共済委員長
松田 清明

つづく難局

昨年は、中国のバブルによる資材と原燃料の高騰に振りまわされた一年でしたが、今年は中国国内の引き締めから、余剰生産物の輸出へと一大転換の年になるのではないのでしょうか。

低賃金による低付加価値の商品・産業群は、平価のドルリンクもあいまって集中豪雨的なものとなり、米州・東南アジア・日本の市場に襲いかかってくるかもしれません。建築用鋼材の一部も低付加価値商品の一つであると思われまますので、今年の鋼材価格もどのように推移するかまったくわからない、というのが本当のところでしょう。

昨年来、鋼材の値上がり分はゼネコンも認めざるを得なかったようですが、手間分はファブの熱望にもかかわらず、はかばかしい進展は見られませんでした。鋼構造物工事業も低付加価値産業の一つなのです。このように実質の伴わない売上げ・与信増は、必要資金の増加をまねき、会社経営に多大なリスク増となって

降りかかってまいります。また、海外への鉄骨発注も増えてくるかもしれません。われわれはどのようにしてこの難局を切り抜けていくのか、理事会・地区会で大いに議論し、対処策を勉強してまいりたいと思います。

(松田鋼業㈱社長)



副理事長
教育・技術委員長
西地区長
森 明

実りある成果を目指して

「働けど働けど我が暮らし楽にならず、じっと手を見つめる」——、啄木の一節に習い、じっと手を見て考えてみたい。

先日、大学発ベンチャー企業として発足したWAWO工法なる、低コスト高耐震鉄骨建築を進める話を聞きました。少し前、当組合委員より低コストの鉄骨開発を組合指導で出来ないか、との提案がなされたことと考え合わせてみました。どちらの提案もコスト低減を目的とし、低減分を利益として確保することに期待するのですが、社会的にこの利益がどう分配されるかを考えると、端的には結論を出しえません。もちろん、鉄骨造が他の構造工法より、低コストであることがアピールされるなら、ある面、市場拡大につながり、我が身に利益をもたらすと考えるのですが、どうもこれすら、そうはいかないような気がします。

経済の原則としての需給均衡が保ちにくい、下請け産業形態に位置するわれわれファブメーカー業界

は、結局われわれ自身が、需給を調整する機能を持たない限り、どんなにコストダウンしても、その利益は需要者側のものになってしまうことの懸念が大きいからです。

やがて業界も一定の均衡特期を迎えます。期を逃すことなく、永くこの均衡を保つべく、何らかの有効的な調整手段の構築を考えるべきであり、業界共通の目標として、実現に向けた努力をしたい。実を結べば、次の需給調整に大きな力を発揮すると思います。働きがいのある働きをしたく願ってやみません。

(日本鉄構建設工業(株)会長)



副理事長
経営近代化委員長
武田 忠義

赤字受注の脱却を団結で克服を

新年を迎え、気分も一新したいところだが、鋼材費の上昇・転嫁などの課題をひきずったままの状況で推移しており、今年も例年になく、まことに頭の痛い年明けとなっている。

ご承知のように建築向け鋼材の需給のタイト化により、昨年当初から品不足が表面化、価格も高騰し続けている。上昇した鋼材費の調達と物件への反映・転嫁問題はわれわれファブ経営に大きな影響を投げかけているが、本来、客先への鉄骨単価は正の意味において、絶好の機会となり得るはずである。その視点から、圧縮されたままの加工費の改善が指摘され、鉄骨単価の値戻しに対する機運がファブ業界全体の動きとして

盛り上がりを見せてもいる。

しかし実際はどうであろうか。確かに鉄骨単価は上昇したが、採算性や適正価格の面からは水準点に到達していない。頭打ちの状況にある。考えてみれば客先のゼネコンをはじめ、われわれの仲間同士の過当競争がある以上、単価はわれわれが思うような上昇を続けることはない。これは子供でも分かる理屈である。

少なくともわれわれが赤字受注の脱却を団結力で乗り越えれば、少なくとも単価は改善されるはずである。至極簡単なことである。バブル崩壊から少なくともわれわれは地獄を見続けてきた。にもかかわらず、この場に至ってもまだ地獄を見ようとする。これでは自虐行為の業界そのものと言われても反論はできない。そして他の業界から笑われても反論はできない。なんとかならないものでしょうか。

(叶産業(株)相談役)



副理事長
耐震補強委員長
Mグレード部会長
池谷 春夫

人生をどう生きるか

戦後の日本が還暦を迎える。今年が高齢者社会を見据えて、雇用のありかたを見直し、生涯現役社会を目指すように検証し、実行に移すように早急に制度を改めなければと思っている。

生涯現役と目標を持ち、人生に定年など存在しない—ということ。現在は内外とも全く不安定で不透明な

経済環境にあり、自分の置かれた立場や、自社の将来や経済面、健康にも配慮した生涯現役の意味の捉え方、現役は必ず人や社会に関わる活動が伴う。仕事がある喜び、仕事ができる喜び、人と人との交流がある喜び、健康である喜び、日々感謝し、定年までと思う(死の時が定年である)ことは大切である。

肩叩きされて辞めていくにせよ、定年までいるにせよ、その後の人生の時間差は似たようなもの。後半の人生をどう生きるかが、その人が幸せか、不幸かを決定づけると思う。

まじめ一本で働いてきた人はまだ良いが、惰性的に過ごしてきた人の場合は、満足のいく後半の人生に向けて歩みだすことは、自力だけでは難しい。

老働時代に備えて、高齢時の進路計画は早い時期に考えておきたい。まず自分の潜在能力を律していくことだ。また、平穏な心は幸せな生活のためにも、仕事の成功のためにもなくてはならないものである。緊張やストレスがなければ穏やかである。

日常的に言えば気楽にいこうということになるだろうが、以上のようなことを考える日々が続いている。

(日東鉄工(株)本部長)



理事
飯田 歳樹

強固な意識の改革・確認を

昨年は鋼材値上げの嵐にまき込まれ、会員ご一同様にとっても大変な

年ではなかったかと思われます。

ご承知のとおり、われわれ鉄構工業における環境は、中国のオリンピック需要に喚起された国際的な鋼材不足と鋼材価格の上昇があり、ゼネコン、デベロッパーからの価格指定、納期短縮等、いわゆる「入りと出」の板ばさみという厳しい業界環境と言わざるをえません。

こうしたなか、全国鉄構工業協会では国土交通省、デベロッパーをはじめ、各関係方面に陳情し、お骨おiriいただいているのはご承知のとおりで、誠に心強いところでございます。しかしながら、目前の経営状態を改善していくには自社の経営努力以外にありません。

われわれの課題は、内には経営効率の向上と大胆な財務改善を、外には断固たる適正価格の受注を推進していくことが必要です。全国鉄構工業協会を中心に会員のより強固な意識の改革・確認が求められているのではないのでしょうか。

今年の見通しも決して楽観できるものではありません。月並みですが、干支にちなんで、羽ばたく鳥を追い求めていきたいと願っております。

(株飯田製作所社長)



理事
東地区長
前田 昭男

環境問題について

環境問題が世間で盛んに取り上げられて、一般社会に大きく入り込んでいる。省エネルギー対策で成果を

あげた優秀な社員を表彰する企業も現れ、家庭内の電力節約や資源エネルギーの有効活用についても個人レベルまで浸透をみせている。

一方、排気ガス、塗料、工場からの煤煙や廃棄物処理など規制はますます厳しくなっており、全業種に大きな影響を与えている。国内の経済界の今後のキーワードの一つともなっており、環境をビジネスとする業種も増加の傾向にあるという。

考えてみれば、日本の高度成長期には水俣病や喘息などで訴訟が相次ぎ、夏場には光化学スモッグとやらも出現、記憶に新しいところである。

京都議定書の発効は地球環境の保護にある。オゾン層の破壊による地球温暖化がこれ以上、進むことを避ける必要がある。

しかし、環境問題は個人個人が問題意識をきちんと持って取り組まなければ、改善しない。地球規模となれば、なおさらのことである。われわれの業界の教訓としたい。

(株前田製作所社長)



理事
角鹿 茂

各社の成長で元下関係是正を

現在、ファブ業界は、生き残ることに精一杯で、業界自体が疲弊している状態。このような状況だからこそ、会員企業の成長、組合の団結力強化が求められていると思います。

われわれの取引の中心である、ゼ

ネコンとの間柄は「元下関係」と呼ばれていますが、本来は対等なパートナー関係であるはずで。彼らも、鉄骨建築を建設する際、ファブの協力が無ければ建てる事が出来ません。にもかかわらず、上下関係になっていたのは、われわれの努力不足があった点は否めないのと思います。

対等で、互いに利益を出し合う関係を築くためにも、各々の企業が新商品の開発・技術力の向上を図り、規模を追うのではなく、特色を出していくことが大切だと思います。また、会員企業の力をより発揮するために、共通のルール設定など、東構協構成員の一層の団結が求められます。

共同受注や分離発注に向けた陳情など、新たな受注形態を開拓することで、利益の面は当然として、「下請け」のイメージから脱却し、ファブの地位向上にもつながっていく。書類など、手間のかかる作業が増えるだろうが、手間以上に得るメリットが大きいと思います。

最後に、私が仕事で大切にしていることについて。それは「真面目な考えで、真面目に仕事に取り組む」ことです。「衣・食・住」は、人が生活するうえで、最も重要な要素。われわれの仕事は、人々の「住」を支えることであり、どんな時代になろうとも無くなることはない仕事でしょう。時代に即した経営方針や製品作りは重要だが、人々の「住」を支える「職人」として、忘れてはならない基本だと思っています。

(株角鹿鉄工社長)



理事
中地区長
涌田 好司

鉄は国家なりの再来

「鉄は国家なり」——昔、聞いた言葉が再度、社会を賑わせる。お隣の中国で鉄鋼消費がこれだけ伸びるとは予想はしなかったが、ともかくも「鉄は国家なり」の再来である。

しかし、かつてそう呼んだ時代と現在では環境がまったく異なる。かつては高度成長期であり、今の流れは経済低迷期にあり、基本的にいわゆる内需が伴っていない。好調な海外諸国の景気に伴い、輸出産業だけが潤っている。

鉄骨需要が前年度比を上回るものと予想されているが、やはり首都圏の大型プロジェクトや情報産業の工場建設が相次いだ結果であり、われわれが対応する中小物件は、ほぼ前年度並みの需要展開をみせているのではないか。確かに大手ファブの量が潤えば、われわれにも仕事は流れるが、全体量をカバーする勢いにはない。

「鉄」は環境にも優しく、設計の自由度も高い。一方、高強度のコンクリート技術の発展でRC造建築が増加しており、脅威を感じるほど目覚ましい伸びを示している。鉄の良さ、技術力の高さなどを社会的に強くPRして、われわれの仕事を増やすように、われわれ自身の手で努力していきたい。

(わくた工業(株)社長)



理事
R・Jグレード部会長
杉本 豊

目標・団結・情報

本年も昨年同様、相変わらぬご支援助ご協力のほど、よろしく申し上げます。

私ども、東京R・Jグレード部会、そして全国R・Jグレード部会連絡会は2005年、今年こそが小規模零細ファブの正念場、耐えに耐えて生き残っている会社が少しでも良いほうに、方向転換できる年ではないかと考えております。

鋼材問題、耐震、免震、制震に対する勉強そして次世代へつなぐ技術、人材の空洞化となすべきことは、次から次へと出てまいります。そして鉄骨工事の技術も次第に変わりつつあります。新しい情報をつかんでこそ、自分の方向性、会社内の見直しを図れるのではないのでしょうか。元気のある会社、そこには必ず何かしら大きな目的ではなく、自分なりの目的を持ち、それに向かって突き進んでこそ、これが元気のある会社になる秘訣ではないかと思えます。

私達でも団結して数が多ければ多いほど、行政、客先、ユーザーに対してのアピールも大きくなります。おかげさまで、R・Jグレード部会も次第に大きくなりつつあります。全国、力を結集できる日が少しでも早く実現できますよう東京のR・Jグレードの皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、皆様のますますのご発展とご健勝をご祈念願っ

ております。(株)一本木鉄工社長)



理事
井戸 弘忠

中小零細ファブの悩み

当社クラスの規模のファブの仕事先は地場の中小工務店が多い。それも近所の居酒屋で顔を合わせる気心の知れた馴染みの会社が大半だ。その客先に元気がない。聞くと大手ハウスメーカーなどの競争に惨敗続きだという。「豊富な経営力、技術力を保有する企業とまともに太刀打ちできない」という。問題は工務店に仕事があれば、地場を活躍の場とするファブの仕事も忽ち皆無になっていく点である。

日本の鉄骨需要の大半は2、3階建てで占められている。ということは少なくともその受注環境は全国的にさほど変わりはないということで、ファブの共通の悩みでもあろう。全国鉄構工業協会はぜひこの問題に対処してほしい。(株)帝都建工会長)



理事
石郷岡梅雄

未来と希望と夢と

「夢」は希望でもあり、それを目標に未来に向かって頑張っていける力の源泉であるといえるだろう。逆に未来がなければ、当然のことながら、

夢がないということになる。われわれファブ業界にそれを置き換えてみて果たして未来や夢はあるのだろうか、ふと考え込んでしまうことがある。

戦争とかの非常事態を除き、人が生活の営みを放棄さえしなければ基本的にわれわれの仕事は後世に続く。需要の増減こそあっても、決して建築鉄骨がこの世から無くなり、われわれの仕事も無くなることはない。

そう考えると理論上、未来はある。しかし、厳しい指し値や採算性、企業利潤を考えた時に果たして業界に夢はあるのだろうか。モノ造りのプライドや夢はあっても、それだけで経営は、成り立ちはせず、業界も成立しない。

活気づく業界には大きな夢を抱いた若者が集まる。それだけの魅力があるという証左であろう。魅力がある業界には優秀な人材も集まり、業界を次世代まで支えていく。果たしてわれわれの業界にはそれだけの魅力をまだ温存しているのだろうか。次世代を、未来を思う時、これが心配である。 (株)石郷岡工業社長)



理事
佐々木義弘

合理化のツケ

あの阪神大震災から今年で10年が経過した。海外ではスマトラ沖大津波、わが国では新潟中越地震、あるいは北陸や甲信越で記録的な豪雪など自然災害が相次いでいる。

自然への脅威。おそらく人類史は

この果てしないテーマに挑戦への歴史ではなかったか。人類の夢は地球の深海へ、奥深い地中へ、果ては宇宙まで飛び出した。大地と火と水と空——、自然は恩恵と同時にとんでもない災いをもたらす。そして、われわれ人類がどんなに発達しようとも、自然にはかなわないことを最後には知る。

しかし、人間が作った物は別だ。その災いは防ぐことができる。その意味で最近、高炉メーカーの工場や石油タンクでの火災が相次いでいるのが、どうも気にかかる。JRや私鉄のホーム転落死は増加し、原因不明の全線ストップも時には起きる。要は、合理化のツケが回ってきたのではないかということだ。いざ、仕事量が増えればどこかに無理が生じる。危機管理が希薄で、少ない人員で対応すれば必然的にその可能性も増大する。

これも災害だが、自然相手でないだけに、どこかで未然に防げるものだ。われわれも建築業の一翼を担う人の命を預かる仕事。それを肝に十分に銘じておこう。 (東京建鉄(株)社長)



理事
柳本 幸治

小さなたび

今朝もいつもの時間に起きた。久しぶりに土曜日の休みである。海と緑が見たくなり列車に飛び乗った。外房線に入ったところで、うとうとしてしまったようだ。まもなく大原

駅に着いた。この列車の終点である。降りることにした。

改札を出ると一枚のポスターが目があった。「いすみ鉄道で大多喜へ」とある。そうだと大多喜へ行ってみよう。足は「いすみ線」へ向かっていた。

電車は2両編成であり、まもなく発車だ。乗客は2割程度で、空いていた。発車間際「おばあさんと孫」と思われる一組が乗って来た。

発車後しばらくして、一台の白い車が平走している。子供とおばあさんが盛んに手を振っている。車の方からも手を振っている。運転手も「にこにこ」しながら警笛を鳴らして応えている。車は子供の両親と一緒に実家に帰る中途とのことだ…。

電車は民家の庭先を通り、林のトンネルを過ぎると、視界が開けて、大多喜駅に着いた。大原駅から25分位の閑な、いすみ線を降りた。駅の案内版をみて大多喜城に行くことにした。

なだらかな登り道を行くと、ゲートとオブジェがあり、ここより「メキシコ通り」とある。立て札には、昭和53年メキシコ・クエルナバカ市との姉妹都市締結をし、その年大統領をお迎えしたことを記念して、名づけたとある。

大多喜城は昔を偲んで、昭和50年に建設された城郭様式のけんちる博物館である。20分程度歩くと、大多喜城に着いた。天守閣から一面の緑が見渡され、遠く太平洋が見えるようでもあった。

房総の小江戸と言われる、大多喜の町を散策すべく博物館を後にした。

街は道路が整備され、歩道は石、インターブロックが敷かれている。街角には木彫りの案内版があり、ポ

ケット・パークにはオブジェが控えめに置かれている。大きな商業看板も無く、人も車も少なく、高層の建物も無く、家々の隣接間隔が広く、景観の美しい街であった。

地元の人が話しかけてきた。7月の花火大会、夏祭り、晩秋の紅葉時にぜひお出かけ下さい…。もう一度ゆっくりとこの町を訪れようと思いつつ帰りの電車に乗った。

車窓から振り向くと、紺碧の空、深い緑に抱かれ、天守閣は眩しく輝いていた。横を白い雲がゆったりと流れていく。(富士工業(株)専務)



理事
中川内伸吉

家族を守るためにも耐震化を

昨年、全国各地で台風や地震で被害にあわれた方々にお悔やみと、お見舞いを申し上げます。また、復旧支援のボランティアの方々には頭が下がる思いです。

自分たちが忘れていた自然災害による恐怖を改めて実感しました。もし、東京で新潟と同じ規模の地震が発生した場合、全半壊4万3000棟という被害予想が出ています。

しかし、地震や台風、火災などの災害も、現在はさまざまな予防手段で被害を最小限に食い止めることが出来ます。そのひとつが耐震補強工事です。

近年、われわれ鉄構業では、ビルや学校、鉄道の橋脚において耐震工事を行っておりますが、まだまだ対

象になる構造物は多いと思われまます。一方、一戸建て住宅や、老朽化したマンションについては、耐震化が進んでいないように思われます。阪神や中越地震の際、自宅が崩壊して、慣れないテント生活を強いられている方が多く見られます。

大事な家族の生活を守るためにも、まず住宅の耐震化は早急に進めるべきでしょう。国も住宅耐震には減税にて支援する模様です。

われわれの業界としても住宅の耐震についてもっと知識を入れるべきだと思います。一部の業者には詐欺まがいのような工事を行い、せっかくの費用が報われないこともあるようです。

自分たちの役割は、安心して住める住宅に改良し、誰もが避難生活をしないで良い東京の街づくりに一役かきたいと心がけています。

最後に、耐震に関する鋼材は、鉄鋼メーカーは、日本の企業として責任を持って供給する責務があります。企業論理だけの営業で、国民の生命を危険な目に遭わすことが無いよう協力体制をとることが大事と考えます。(株)中川鉄工所社長



監事
矢澤 潤一

夢を実現させる過程こそ大事

本当に長い間、不景気が続いています。夢も希望も沸いてこないくらい、新聞やテレビは毎日、不愉快な事件ばかり報道しています。

でも、少なくとも自分の中に、夢と希望を持ち続けることは、誰にも邪魔されることなく、出来るわけです。こうした時代こそ、夢と希望を持ち続けることが大事だと思っています。

人には、それぞれの夢があるはずです。私には夢がない、と嘆いている人もいるかもしれませんが、それはきっと「材料が足りない」だけのことではないでしょうか。例えば、おいしい料理を作るには良質な材料を集めることから始めますよね。それと全く同じことだと思います。たくさん本を読んだり、いろいろな所へ出かけたりして、体験を積み重ねることで「材料」が集まってくるのだと思います。中でも一番大切な事は「感動」だと思います。人の一生を動かす程の感動を体験できた人は、きっと大きな夢を持つことが出来ると思います。

色々な夢のパターンを考えてみるのも、とても楽しいものです。それが2次元から3次元に変わってきて、回りの景色が立体的に見えてくると本当にワクワクしてきます。

夢を実現させることは決して簡単なことではありません。特に、お金の計算をし始めると確率はだんだん小さくなるように思えてきます。しかし、夢を追い続けるというその過程こそ生きている証だと思います。夢が実現するかどうかよりも、夢を実現させようとしている、今この瞬間が何よりも大切なことだと思います。

人間として生まれてきて、たった一度の人生何をするのもいい。ただ夢に近づく努力をすることを忘れずに生きてゆきたいと考えています。

(株)矢嶋社長

地区会員名簿

東地区 (27社) 地区長 (株)前田製作所 前田 昭男

No	会社名	グレード	No	会社名	グレード	No	会社名	グレード
1.	那須ストラクチャー株式会社	H	11.	城北工業株式会社	R	21.	株式会社辻工作所	J
2.	株式会社飯田製作所	M	12.	鈴木鉄工建設株式会社	R	22.	有限会社矢萩鉄工	未
3.	中央ビルト工業株式会社	M	13.	有限会社高市工業	R	23.	株式会社長谷川工業	J
4.	株式会社中込工業所	M	14.	株式会社角鹿鉄工	R	24.	木村鉄工建設株式会社	未
5.	株式会社前田製作所	M	15.	株式会社東洋鉄骨	R	25.	熊谷工業株式会社	未
6.	吉岡工業株式会社	M	16.	株式会社利根川鉄工所	R	26.	ヤナセ工業	未
7.	株式会社谷村製作所	M	17.	株式会社中川鐵工所	R	27.	市川スチールエンジニアリング	未
8.	富士工業株式会社	未	18.	林鉄工株式会社	R			
9.	株式会社奥村鉄構	M	19.	三進建鉄有限会社	R			
10.	株式会社佐久間鉄工	R	20.	株式会社コイワ	R			

中地区 (12社) 地区長 わくた工業(株) 涌田 好司

No	会社名	グレード	No	会社名	グレード	No	会社名	グレード
1.	池田鉄工株式会社	M	6.	株式会社鎌建工業	R	11.	株式会社三侖鉄工	未
2.	日東鉄工株式会社	M	7.	有限会社修和鉄工	R	12.	わくた工業株式会社	M
3.	松田鋼業株式会社	M	8.	株式会社帝都建工	R			
4.	井上鉄工株式会社	R	9.	東京建鉄株式会社	R			
5.	有限会社金谷鉄工所	R	10.	大伸鉄工株式会社	未			

西地区 (23社) 地区長 日本鉄構建設工業(株) 森 明

No	会社名	グレード	No	会社名	グレード	No	会社名	グレード
1.	叶産業株式会社	H	11.	株式会社酒多鉄工所	R	21.	近藤鉄工株式会社	未
2.	川岸工業株式会社	H	12.	有限会社坂爪建鉄工業	R	22.	株式会社佐々木鉄工所	未
3.	株式会社石郷岡工業	M	13.	島崎工業株式会社	R	23.	株式会社敏鉄工	未
4.	小島工業株式会社	M	14.	株式会社高水鐵工	R			
5.	株式会社矢嶋	M	15.	有限会社中央製作所	R			
6.	日本鉄構建設工業株式会社	M	16.	東洋鋼機株式会社	R			
7.	有限会社天野鉄工所	R	17.	有限会社橋本鉄工	R			
8.	井戸建鉄株式会社	R	18.	有限会社藤本鉄工所	R			
9.	株式会社一本木鉄工	R	19.	株式会社河村鉄工所	R			
10.	株式会社大須賀製作所	R	20.	株式会社栗野鉄工所	未			

設計・現寸工程の革新を目指して

—FASTシステム 3D化の取り組み—
ファースト・クルー

昨年は鋼材価格の高騰により大変な年でありましたが、受注価格の改善の動きもあり、全体としては薄日のさしかけた1年であったかと思えます。今年こそ鉄骨業界にとって本物の回復・復活の年になることを願っております。

さて、私共の鉄骨CAD“FAST”は今年の1月に3次元エンジンを搭載した新ソフトをリリースし、

今までに無い斬新な機能を提供してまいります。以下、紙面を借りて簡単にそのコンセプトをご紹介します。と思います。

①なぜ3D化が必要か？

●鉄骨専用CADは施工図・現寸・NC・工作資料を自動作成し、工程の短縮化や省力化に貢献してまいりました。しかし、鉄骨の設計

の多様さに完全対応できず、汎用CADでの編集作業を余儀なくされ、データの連動性が完全でなくなる場合もありました。

- 『汎用CADで編集したデータを専用CADにフィードバックできないか？』と言うことを何年も前から問われてきました。これに対する回答が“3D化”なのです。
- FASTで実現する3Dソリッドモデルは鉄骨製品や部位をパソコンの中で立体的に表現し、板や形鋼の形状を3D編集機能により、簡単に変更できます。その結果が

図面・現寸に自動反映されるわけ
です。つまり、図面編集と現寸作
業がひとつの工程で行えるわけ
です。

② 3D化によって、設計・現寸はど う変わるのか？

- 図面を作成するのが仕事ではな
く、3Dモデルを完成させる事が
役割となります。
- 多工程が一工程になる事で組織と
要員配置が変わり、効率化による
コストダウンが実現できます。
- 2D汎用CADは、図面のレイア
ウトや寸法線の編集と追記程度の
役割を担うものになり、台数（要
員）の大幅削減が出来ます。

③ 3D化によって加速される開発。

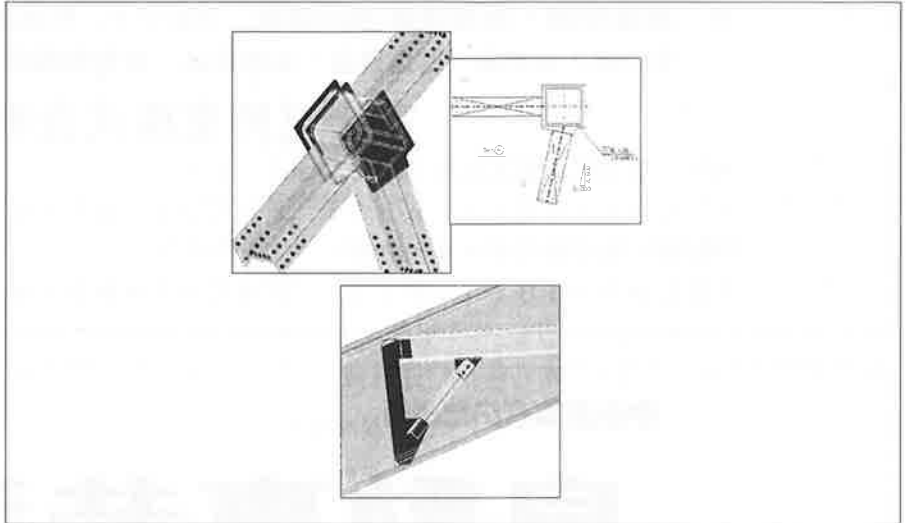
まずは、FAST 3D 接合部モデル
● 仕口・ガゼット形状、母屋ピース
取合を3D機能で自動計算。図面
現寸に連動。

次に、FAST 3D 修正機能。梁
主材・シャフト・ブランクett形
状修正。

● 3D配置機能。R梁・多点変形等
の、特異な配置の対応。

● 自由な部品設計と割付け。ファス
ナーS造小物割付け。

これらを短期間に実現し、工程の革
新に寄与したいと願っております。



企業の安定成長を図り、人材を守る

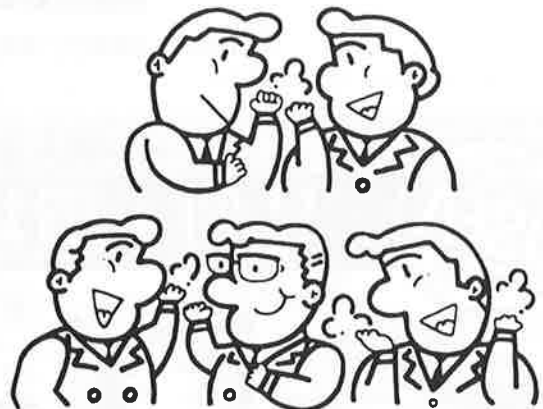
全構協共済制度

(災害保障特約付団体定期保険)

この制度のすぐれた特色

- ★割安な掛金で大きな保障が得られます。
- ★契約は1年更新ですから、経済情勢にあわせ、1年ごとに必要な保障額をお選びいただけます。
- ★掛金のお支払いは、金融機関の口座より自動的に振替えますので便利です。
- ★簡単な手続きでご加入いただけます。
- ★病気死亡、災害死亡はもとより不慮の事故による入院および身体の障害も保障します。
- ★1年ごとに当団体のみで収支計算を行い、剰余が生じたときは配当金としてお返しします。

※ご加入に際しては、所定のパンフレットを必ずごらんください。



委託保険社 **DAIDO 大同生命**

首都圏地区営業本部/東京都中央区八重洲2-1-1(ヤンマー東京ビル) TEL 03-3241-4311

F-16-11(平成16年7月27日)

通心

お客様と「心の通う」お付き合い お客様の満足が当社の願いです！！

- 1, 高圧ガス及び関連商品（一般高圧ガス、LPガス、特殊ガス、医療ガス）
 - 2, 溶接機及び切断機（溶接機、切断機、レーザー加工機、など）
 - 3, 溶接棒、溶材、工具類（溶接材料、一般工具、機械工具、各種ハンダなど）
 - 4, 産業機械・設備機器（鍛圧機械、ロボット、荷造運搬機械、コンプレッサー）
- その他、化学品・生活商品・事務用品・安全保護具・環境機器・工事関係

富士見興業株式会社

本社・東京都杉並区高円寺南1-27-11

TEL03-3314-5711 FAX03-3314-2621

特販部・東京都杉並区高円寺南1-27-11

TEL03-3314-5711 FAX03-3314-5818

中小企業者のための

自動車共済

あらゆるアクシデントに万全の対応【新自動車共済制度】です。

車の事故に遭遇したら……、あなたを救うのは、共済です！

自動車共済事業は加入者一人ひとりが組織を構成し、相互扶助の精神に基づき事業を行う制度で、営利を目的とするものではありません。

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-1-11（自動車共済ビル）

関東自動車協同組合 東京本部

TEL03-3661-8833 FAX03-3361-9505

グリーン購入法適合さび止めペイント

品質+環境対応で安心



東京都環境局ガイドライン適合品

鉛・クロムなどの有害重金属やトルエン・キシレンなどの有機溶剤を除外した、人と環境に優しいさび止め塗料です。

T.Wプライマー
T.Kプライマー
T.Dプライマー

彩りに優しさをそえて
DNT
大日本塗料

●東京営業所
☎144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23
(TOKYU REIT 蒲田ビル)
☎03-5710-4501
http://www.dnt.co.jp/ いろいろよい
建機用塗料
フリーコール0088-22-1641

東京都鉄骨取扱要綱 鉄骨造等取扱要綱を一部改正 検査方法に「内質検査」加える 来年度から運用開始

東京都は「鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱」の一部改正作業に着手している。同要綱の項目5としてある「溶接部の受入れ検査に関する検査方法及び合否判定基準」に外観検査、超音波探傷検査に今回、新たに「内質検査」を加えるもの。検査は、硬さ試験、不可逆性の示温塗料等塗布のいずれかの方法とし、対象となる建物高さや鋼材板厚なども明示した。来年度の確認申請受付分から運用を開始することになっている。

硬さ試験か不可逆性の示温塗料等塗布のいずれかの方法で

「鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱」は、都内で連続して発生した不良鉄骨工事（溶接部等の重大な欠陥）に共通する要因が、工事監理者や施工者による受入れ検査等が適正に実施されていなかった点を重視、その適正な実行を図ることを目的に平成2年12月に制定されている。

今回の改正点は、同要綱の項目5の「溶接部の受入れ検査に関する検査方法及び合否判定基準」で、新たに「内質検査」を加えた。これにより、受入れ検査方法を外観検査、超音波探傷検査の3方法に拡充することになる。

改正の背景として建築基準法施行

令67条や法37条関連告示などに基づき、東京都では建築工事における試験・検査制度を解説した「建築工事施工計画等の報告と建築材料試験の実務手引き」のなかで、すでに梁端部やブラケットなどの工事現場溶接部の要求性能と管理方式を明示してきた経緯がある。従って、今回の改正で工事現場溶接部に引き続き、工場溶接部の受入れ検査を含めた方法と判定基準を法的根拠に沿って明確に示したことになる。

改正案では、「当該接合部の溶接部が、極く稀にみる大地震においても塑性域に達しないよう設計した場合についてはこの限りではない」との前提条件があり、そのS、SRC造建築物の溶接接合部の内室検査実施の対象を「①建物高さが45m以上、鋼材板厚25mm以上②建物高さが45m以下、鋼材板厚40mm以上」としている。事実上、「塑性域に達しないよう設計した場合」は対象外となり、大半は免れるものとみられ、実施の建物規模からも、大臣認定のMグレード以上の鉄骨製作工場が対象になるも

のと予想される。さらに、②は大スパン構造の例えば階上が多数の客室があるホテルのロビーやドームなど高さが絞り込まれた建物が対象になるものとみられる。

内質検査の方法は、「①硬さ試験 ②不可逆性の示温塗料等塗布」のいずれかの方法によるものとし、先的法的根拠から溶着金属としての性能や接合する鋼材の機械的性質を下回らないことや溶接ワイヤの使用区分・溶接条件の遵守確認を要求している。この確認が不可能な場合には成分分析等のより精度の高い試験方法による最終判定を求めているが、ここでも「構造計算又は適切な補強方法などによって構造耐力上の安全が確認できる場合はこの限りではない」との条件をつけている。

東京都では現在、同要綱改正案の最終調整に着手しており、遅くとも来月上旬には都内23区及び関係市、確認検査機関や関係団体に通知、4月1日に公布する。現場溶接部については、4月の確認申請受付分から、また工場溶接部については今年10月受付分からそれぞれ運用をスタートさせる予定となっている。

要求性能タイプと管理ランク（現場溶接）

タイプ	管理ランク		
	A	B	C
I 梁の端部①	○	△	△
II 梁の端部②	○	○	△
III ブラケット（梁-梁）	○	○	△
IV その他	○	○	○

鉄骨造建築物におけるワイヤの使用区分（JIS Z 3312解説より）

溶接条件		適用鋼材の引張強さ		
入熱(kJ/cm)	バス間温度(℃)	400N/mm ² 級	490N/mm ² 級	520N/mm ² 級
15~20	≦150	YGW-11, 15, 18, 19	YGW-11, 15, 18, 19	YGW-18, 19
15~30	≦250	YGW-11, 15, 18, 19	YGW-11, 15, 18, 19	YGW-18, 19
15~40	≦350	YGW-11, 15, 18, 19	YGW-18, 19	-

賛助会員一覧

会社名	〒	本社・所在地	代表者 担当者	役職名	TEL	FAX	取扱主商品
		東京都内営業所所在地					
大日本塗料(株)	554-0012	大阪府大阪市此花区西九条6-1-124	豊松正文	代表取締役社長	06-6466-6661	06-6462-0788	塗料全般 TD-PR
	144-0052	東京都大田区蒲田5-13-23 蒲田シティビル	岩崎隆治	課長代理	03-5710-4501	03-5710-4520	
大同生命保険株式会社	104-0028	東京都中央区八重洲2-1-1 ヤンマー東京ビル	宮戸直輝	代表取締役社長	03-3281-0111		生命共済
			久家幸雄	営業推進部長	03-3241-4311	03-3278-9676	
ダイニッカ(株) 東京支店	104-0032	東京都中央区八丁堀1-9-5	横地将男	代表取締役社長	03-3552-3151	03-3552-0672	全構協指定塗料 錆止め塗料
			川路幸裕	営業担当	03-3552-3163	03-3552-3162	
(有)丹 アメリカンファミリー 生命保険会社 特別代理店	344-0012	埼玉県春日部市六軒町248-8	丹治真喜子	代表取締役社長	048-735-9690	048-735-9740	がん保険、介護保険、 医療保険、終身保険
	104-0053	東京都千代田区神田駿河台2-2 お茶の水 杏雲ビル	榎本啓二	支社長	03-3219-7171	03-3219-7180	
富士見興業(株)	166-0003	東京都杉並区高円寺南1-27-11	名取孝人	代表取締役社長	03-3314-1430	03-3314-5818	工業用ガス 溶接材料 機械、工具
			木下俊夫	営業部長			
AIU保険会社 青林保険事務所	110-0015	東京都台東区東上野3-18-7 上野駅前ビル3F	金子直行	代表者	03-3839-7216	03-3839-7548	損害保険商品
(株)正栄商会	136-0071	東京都江東区亀戸6-55-20	岡田勝	代表取締役	03-3682-7821	03-3685-6422	皮手袋、ガウジング棒、 溶接面及びガラス フラックススタブ
			小林伸好	営業担当			
(株)アマダカッティング	259-1116	神奈川県伊勢原市石田200	上田信元	代表取締役	0463-96-3351	0463-96-0109	帯鋸盤、金属工作機材の製造・販売 修理点検、鋸刃、消耗品
			三宮一郎	係長			
(株)ファーストクルー	111-0053	台東区浅草橋5-24-6 NBK浅草橋ビル6F	鈴木康	代表取締役	03-5322-3544	03-5822-3554	鉄骨CAD/CAM "FAST"
			辻川高士	課長代理			

第19回通常総会 日時：平成17年5月16日（場所：錦糸町 ロッテプラザ）

編集後記

昨年は国内外ともに天災の多い年でした。国内では台風、地震、国外では年末のスマトラ島沖地震と津波、欧州や米国での豪雨と未曾有の被害が発生しています。今年は、少しは落ち着いた年であって欲しいものです。

社会面では、毎日数件の殺人事件が新聞に載っていない日はなく、またゴルフ場を舞台とした銀行のキャッシュカードのスキミングのように、本来守るべき立場の人が関与していたとは、全く油断もすきもない世の中になり、日本の治安も地に落ちたものです。

翻ってわが業界を見てみますと、今年は、少しは明るさが見えてきたとはいえ、上流であるゼネコン業界はまだまだ過当競争の状態であり、ファブ業界は下請けの中でも一番この影響を受けると思います。

国土交通省もゼネコンの新分野進出をバックアップし、供給過剰の状態を何とか改善しようとしています。が、当分改善されるとは思われません。

ゼネコン業界は、本質的に供給過剰になりやすい体質を持っていると思います。バブル崩壊後建設投資はかなりの割合で減少しているにもかかわらずゼネコンの数は増え続けていたことにも現われています。

また熊谷組と飛鳥建設の合併のよ

うに、少し状況が良くなればご破算になったように、業界再編も進まないでしょう。

ゼネコンの多くは何時倒産してもおかしくない状態にあると思います。このような中で、自分の企業を守るためには、十分な与信管理が必要です。

ただし、安全第一だけでいけば企業はジリ貧となり、甘くすれば受注は増えるでしょうがリスクも大きくなり、倒産の憂き目を見るかも知れません。経営者の手腕が問われるところでは。

組合員の皆さんも自己研鑽を怠らず今年も頑張ってください。「天は自ら助くるものを助く」というではありませんか。（案山子）